



公益社団法人神奈川県助産師会 勤務部会主催研修会報告

ハイリスク分娩経過における CTG判読

【日時】平成29年6月24日（土）13:00～16:00

【会場】とわ助産院

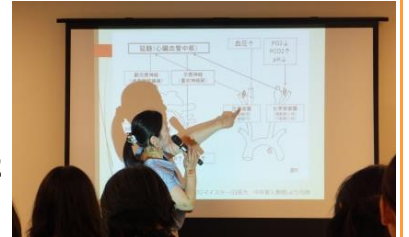
講師：葛西 路 氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター
総合周産期母子医療センター）

- ・ハイリスク分娩やそれに近い分娩経過の CTG 判読を行っている、県内・都内の勤務助産師が多く受講していただきました。
- ・事例を用いた講義で判読のポイントなどディスカッションで深めることができましたと思います。
- ・CTG 判読は繰り返し行うことで学びを深めることが大切であることを強く感じました。



受講者の皆様のご感想（一部ご紹介）

- ・モニター判読は毎日、行う事など、胎児の状態を正しく判断し
早期に行動しなければいけないと改めて感じる良い機会となりました
- ・様々な事例があり学びを深められました
- ・丁寧に機序も含め学べてとても良かった
- ・遅発性一過性徐脈、変動一過性徐脈の判読について判断することが
難しかったため、その判断の仕方が今回の講義を参考に分かりました



次回開催予定

- ・2018年1月25日（木）とわ助産院にて
講師：バースあおば院長 柳澤初美氏
「分娩介助技術の習得」
～開業助産師の技を学ぶ～